

プレスリリース

西友、レタス植物工場を都内店舗に開設 店産店消で鮮度抜群、無農薬(*)で安心安全を提供 LEAFRU 社が運営する植物工場スキームを大森店に導入

合同会社西友（東京都北区、社長兼最高経営責任者 リオネル・デスクリー、以下西友）と LEAFRU 株式会社（東京都中央区、代表者 湯川 敦之、以下 LEAFRU）は、西友大森店（東京都品川区）に西友では都内初となる「店内植物工場」を開設、3月5日より水耕栽培レタスの販売を開始いたします。



植物工場内イメージ



植物工場外観（窓の画像はイメージはめ込み）

西友では、植物工場の運営・野菜の卸売り販売を手掛ける LEAFRU と共同で、西友店内に店内植物工場の導入を進めています。安心・安全、産地からの距離が近く鮮度が高い野菜へのお客様のニーズは高く、西友はこのようなニーズにお応えするために、昨年2月に、1号店として西友上福岡店（埼玉県ふじみ野市）にレタスを栽培する店内植物工場を導入いたしました。お客様からは「鮮度が良い」「価格が安定している」など好評を博しておりましたが、コロナ禍において、「安心・安全な衛生管理と無農薬(*)栽培」という特長により、一層の人気となっております。このような背景のもと、上福岡店での運用ノウハウを踏まえて、今回、2店舗目となる店内植物工場を西友大森店に開設いたします。

大森店では、5階の専門店のフロアに、水耕栽培装置を設置し、専任のスタッフが「種まき」「育苗」「収穫」までの作業を担います。毎日収穫、個包装されたレタスは、衛生状態が保たれた状態で地下1階の野菜売場に並びます。栽培するのはレタスを定番とし、他品種の葉物野菜も試験的に栽培する計画です。なお、大森店で収穫されたレタスは、近隣の西友店舗26店舗でも販売され、同店は、都内地産地消を実現する出荷拠点としての役割も担います。

(*) 栽培期間中は農薬不使用

西友では、店内植物工場は鮮度や安心安全の提供だけでなく、店舗売場スペースの新たな有効活用策の担い手と考えており、上福岡店、大森店に続き、さらなる店内植物工場の拡大を今後進める予定です。

西友は、お客様のニーズに合う商品の提供とお買い物の場の効果的な活用で、引き続きより良い売場作りを目指してまいります。

- 販売商品名 グリーンリーフ(レタス) 1株 147円(税込み)
- 1日の収穫量 約365株を予定
- 販売場所 西友大森店 地下1階青果売場 *大森店の近隣26店舗でも販売
- 店内植物工場産のグリーンリーフの特徴
 - 店産店消
店舗内の植物工場から収穫したばかりの鮮度の高い商品が売場に並びます。
野菜売場に直接届けるためゼロ・フードマイレージを実現し、食料の輸送に伴う環境への負荷軽減にも貢献します。
 - 味わい
柔らかく、優しい味わい。さっと洗うだけで召し上がれます。
 - 安定供給
天候に影響されず、1年を通じて一定の品質、価格での安定供給が可能です。
 - 安心・安全
栽培期間中農薬を使用しない水耕栽培。

【店内植物工場について】

一般的に、植物工場を導入するには、初期導入コストが高く、それに伴い販売価格も高価になりがちとされています。プランツラボラトリー株式会社が東京大学との共同研究により開発した植物工場システム「PUTFARM」は、敷地の広さや屋内・屋外を問わず様々な場所に設置できることに加え、従来の植物工場と比べ導入コストは1/2~1/3と大幅な削減を実現しており、すでに多くの稼働・栽培実績を上げています。

また、最適化された工場内の空間環境や、データに基づく栽培ノウハウの下、お客様のニーズに沿った様々な品種を、安心・安全かつ安定的に供給することを実現しています。

【LEAFRU社について】

植物工場に関する研究開発・コンサルティングを手掛けるプランツラボラトリー株式会社の100%子会社。

植物工場の運営ならびに野菜の販売・卸売りを手掛ける。

<https://www.leafru.com/>

【西友について】

1963年に設立された西友は、日本国内で北海道から九州まで300以上の店舗網を有しています。スーパーマーケット、ハイパーマーケット、そして「楽天西友ネットスーパー」を通じて、生鮮食品を含む食料品、衣料品、住居用品をご提供しています。EDLP（エブリデー・ロー・プライス＝毎日良いものを低価格で）でお客さまをお迎えし、地域に密着した先進的で革新的なバリュー・リテーラーとして、ウォルマートのパワーを活用しながら、毎日のお客さまの利便性の高い生活のために貢献しております。